

株式会社アーテス秋田

代表者 南木 健利

住 所 秋田県大仙市内小友裏地55

連絡先 TEL 0187-68-2311

FAX 0187-68-2377

メール nanmoku@artes-group.co.jp

資本金 1,000万円

設立年月 昭和53年2月

従業員 80人



革新的な縫製技術の導入で、世界的ハイブランド アパレル向けの技術提案力を強化

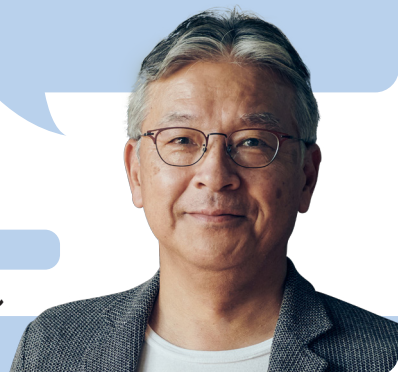
当社は東京都墨田区に創業した南木メリヤス（現アーテス）の秋田工場として設立し、昭和53年に独立したカットソー商品を取り扱う縫製業者です。当社は地元採用にこだわることで継続的な技術向上を目指しており、国内外のハイブランドアパレルから直接注文をいただけるほど技術の蓄積を図ってきました。今回は縫製糸の代わりに編地用の糸を使って縫うことで生地に馴染む「ソフトシーム」という新たな縫製技術を導入することで、ハイブランドアパレルに対する技術提案をさらに強化する目的で補助事業にチャレンジさせていただきました。

Question

Q 御社の強みを教えてください。

A パターンメイキングの段階から積極的な技術提案を行い、デザイナーの頭の中のイメージを形にするのが当社のスタイルです。

代表取締役
南木 健利さん



エリ・袖をソフトシームで縫製したトレーナー

本事業への取り組みの経緯

アパレルの世界は創造力や知名度が重要となりますが、当社ではこれらを持つハイブランドアパレルに対して、技術力を活かしてOEM供給を行っています。

近年の中国やベトナムといったアジア諸国の技術革新は目覚しく、高い技術力を誇る当社としても新たな縫製技術の調査研究や提案活動が必要な状況でした。

そこで、当時日本で新たに開発された「ソフトシーム」という、柔らかく生地に馴染む縫製方法を導入することで、技術的優位性を確保したうえで、取引のあるブランドだけでなく、世界各国のハイブランドアパレルに積極的な提案営業を行っていくこととしました。



通常の縫製糸でのステッチ拡大

実施した内容（取り組みの詳細）

ソフトシーム技術による新たな製品群の試作開発には、専用のミシン類とラインが必要になるほか、糸の調整技術の習得などに相応の時間が必要となります。工場内の研究部門において専用ミシンの習熟運転を先行して行い、その結果を試作ライン担当に広げることで効率よく技術習得ができるよう取り組みました。

また、既存の顧客に従来品と試作品の違いを比較してもらうため、パーカーやパンツ、Tシャツなど、日頃から納品している代表的なアイテムで試作品を製作し、違いを明確に分かっていただけるようにしました。



ソフトシーム用改造2本針ロックミシン

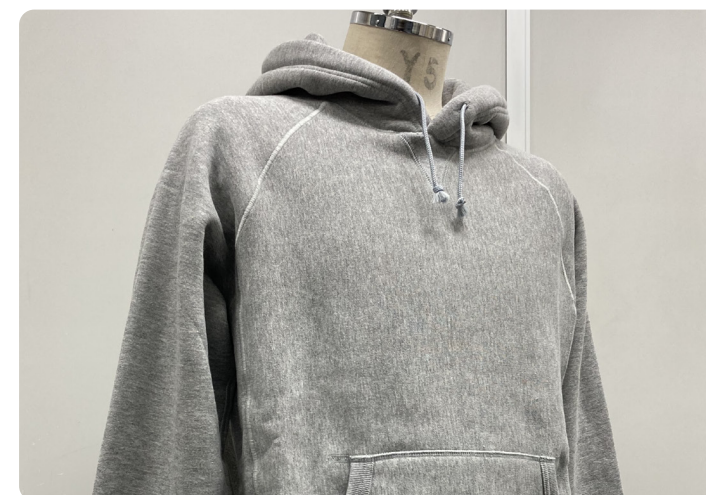


研究開発サンプル作成に貢献した1枚裁ちCAM

取り組みの成果・波及効果

ソフトシームは見栄えだけでなく、縫い目が肌に当たらないため使い心地という価値を提供できるほか、体型に合わせた立体的造形も可能となります。

ソフトシーム自体の売上は微々たるものですが、国内外で当社の技術力をアピールする営業ツールとして大きな武器となり、新たな試作品の依頼や他ブランドとの差別化を狙うアパレルからお声がけをいただきました。また、社内では新しいことにチャレンジし続ける重要性を現場スタッフが認識したほか、現在では出来なくなった過去の優れた縫製技術を学び直すなど、ソフトシームの導入が技術的な武器のバリエーションを増やすきっかけとなりました。



ソフトシームで縫製したパーカー



パーカーのソフトシーム部分の拡大

今後の展望・活動予定

本事業取り組み後、当社のものづくりに対する姿勢を高く評価いただき売上が大きく増加したほか、新たな技術開発も継続しています。

私たちが大事にしていることは、お客様のことを考え、欲している物を先回りして想像する、いわゆる「気の利く」対応です。技術だけを比べると海外にも素晴らしい技術を持つ工場はたくさんありますが、お客様の喜ぶ姿を想像しながらものづくりできるのが日本人の特色ですし、秋田県人は特にその部分が強い県民性だと感じています。今後もたゆまない技術開発とチームワークを大事にしたものづくりを続けていきたいと考えています。



工場内の作業風景